



和と力

12月号



売布小ホームページ

令和6年(2024年)12月 1日

宝塚市立売布小学校

校長 藤山 昌生



先月、詩人の谷川俊太郎さんがこの世を去られました。『どきん』『生きる』、そして『スイミー(訳)』など、谷川さんの作品は国語の教科書にも掲載され、これまで子どもたちと一緒に学習したり、朗読したりしてきました。そのため、家の本棚にある『谷川俊太郎詩集』と『谷川俊太郎詩集続』の2冊を久しぶりに手に取りました。栗紐が挟まれているページを見ると、『道』という詩にたどり着きました。学年を担当するとき、私たち

はその学年のテーマを決めます。「道」をテーマにしたこともあり、「道」にまつわる言葉や詩を探していたのだと思います。私たちににとっては、子どもたちに響く言葉を探しているだけですが、谷川さんは、ことば一つひとつの持つ力を、わかりやすい表現で紡ぎ出しているところにその凄みを感じます。だからこそ、谷川さん自身の言葉として、時には柔らかく、時には鋭く、私たちの心の奥底にことばが響いてくるのだと思います。“生きているということ いま生きているということ”という『生きる』の詩のフレーズにあるように、私たちは日々の中でどんな小さな瞬間にも感動を見つけ、それを深く味わうことで、「生きる」意味を見出していくのだなとあらためて感じさせられました。世の中が目まぐるしく進む中だからこそ、ふと立ち止まって考えることも大切にしていきたいです。

5年生自然学校 @淡路

5年生は、11月25日(月)から29日(金)に自然学校を実施しました。丹波少年自然の家の閉鎖に伴い、今年度から国立淡路青少年交流の家を拠点に5日間のプログラムを実施しました。海でのカッター体験については、雨風が強く残念ながら実施できませんでしたが、5日間という長い期間、学校や家庭を離れて、テレビやインターネットも無く、友だちやリーダー、そして先生と様々な体験活動に取り組むことができるのは、とても貴重な経験だと思います。この経験を、学校生活にもしっかり生かしていってほしいと思います。

野外炊事(カレー作り)



藍染体験



キャンドルファイアー

